

# 第一回 越生陶器市

を開催します

みなさん、ご存知でしたか？

越生町は、埼玉県で一番多くの陶芸家が活動しているといわれています。そして今回、町内の陶芸家のみなさんがうめその梅の駅に集結し、陶器市を開催することになりました。ここでは陶器市に出店する陶芸家のみなさんをご紹介します。自分の好みの陶器を見つけてみませんか？



悟空窯 (黒山)

戸口 悟さん (本町)

焼物は、その強度と装飾効果を狙って上薬（釉薬）をかけますが、その多様性に魅せられ、陶芸を30年も続けてきました。今回その作品の一部を県展入選作品とともに展示する予定です。ぜひ見に来てください。

梅峰窯 (鳩山町)

三浦 道雄さん、とし子さん (しらさぎ)

工房の名前は、陶芸が好きだった妻の母（峯子さん）の名前と越生町の特産品の「梅」をとって「梅峰窯」と名付けました。親しみあるある越生町で開催される陶器市でみなさんにお会いできることを楽しみにしています。





## 陶工房 勝 (古池)

### 小野 勝利さん (日高市)

焼き物は間口が広く奥が深いです。私は鉄釉が好きで、鉄分の量の加減で黄・茶・赤・黒と変化するんです。人によって持つイメージは違いますが、私は黒釉が好きですね。作品はイメージ通りに出来ないけど、できると嬉しいものです。



## うめその陶房 (小杉)

### 西山 俊廣さん (小杉)

退職後、友だちづくりのために工房を開きました。もともと好きだった陶芸をとおしてみなさんと交流している時間が私の一番の楽しみです。陶器市にも遊びにきていただけると嬉しいです。



## 陶房ひと葉 (小杉)

### 中島 洋見さん、哲子さん (小杉)

陶器は作る人によって特徴がでるものです。そして、陶器市は複数の陶芸家の作品が集まる良い機会です。陶芸家ごとの陶器の特徴を意識して見てみると、より一層楽しんでいただけたらと思いますよ。



## 陶脩窯 (大満)

### 柳川 陶脩さん (大満)

私は「楽焼」という種類の陶器が好きです。楽焼は、ろくろを使わず、手びねりで作るのが特徴です。一見不格好に見えるけど、それが味があって良いんです。みなさんにも楽焼の良さを味わっていただきたいです。



## 武州越生 陶へんぼく (大満)

### 戸田 昌利さん (鶴ヶ島市)

私が目指しているのは「型にはまらない陶器」を作ること。私が魂を込めて作った陶へんぼくらしい「力強く味のある陶器」を皆さんにも一目見ていただいて、気に入ってもらえたらうれしいです。



## 第1回 越生陶器市

日時 11月17日(日) 場所 うめその梅の駅

内容 町の陶芸家(8人)の陶器販売、木工関係者(4人)による木製品の販売、飲食の出店  
梅・ゆず製品の販売、特産物の販売など

※取材終了後、芹ヶ沢陶房の石川真理さん(小杉)が出店することになりました。

問 越生町観光協会

TEL 292-1451